

■令和7年4月14日号（第1927号）

- ・政府 特定利用空港・港湾を追加＝11 空港 25 港湾に、道路ネットワークも整備
- ・内閣府 国土強靱化実施中期計画＝20兆円超で自然災害対策へ
- ・日本全国みなと便り（42）酒田港湾事務所 藤原弘道所長
- ・港湾局 持続的なクルーズ振興＝J I C C会員と意見交換
- ・国際クルーズ受入機能＝7年度第1回、7事業
- ・クルーズ訪日旅客受入＝7年度第1回公募結果
- ・中部国際空港 今月から代替滑走路着手＝延長3290m、工期2年
- ・国交省 能登半島地震の復旧・復興＝港湾・港湾海岸は本格着工
- ・茨城県 茨城港長期構想（案）＝常陸那珂港区で大型船受入
- ・東京都 伊豆小笠原諸島海岸保全＝基本計画改定、気候変動対応
- ・仙台塩釜港 ポートラジオが開局＝安全確保、航行支援
- ・松山空港 護岸ステージマウンド築造＝水深10mまで2次基礎捨石
- ・松山港 脱炭素化推進計画（案）＝荷役機械の低炭素化等
- ・屋久島空港 7年度から滑走路延長工事＝工期約10年、事業費165億円
- ・神戸港 港湾脱炭素化推進計画策定＝水素利活用しCN目指す
- ・那覇港 総合物流センターⅡ期＝P F I 実施方針案を公表
- ・和歌山県 ポートフォーラム2024＝花田局長が港湾動向を説明
- ・日高港 無線検疫対象港に指定＝和歌山県内では33年ぶり
- ・7年度港湾整備 港別予算・事業内訳④
- ・不動テトラ 浚渫船兼起重機船「FT400」が完工＝6月に初弾工事で稼働へ
- ・作業船にバイオ燃料 東洋建設が初導入＝海上土木工事のCO2削減
- ・各社トップの入社式訓示（五洋建設、東亜建設工業、東洋建設、若築建設）
- ・近畿みなとの達人 「未来へ紡ぐ」テーマ＝阪神・淡路大震災30年
- ・佐伯港 みなとオアシスさいき＝登録証交付式、港を核に賑わい創出
- ・三菱総研 洋上風力と漁業の未来共創＝実現に向けた11の提案発表
- ・博多港に新造コンテナ船 INTERASIA TRIBUTE＝台湾・東南ア貨物拡大期待
- ・NEDO 関電が水素混焼実証開始＝万博会場に一部電力供給も
- ・国交省・環境省 ゼロエミ船建造促進＝6年度二次募集開始
- ・沿岸センター 海洋・港湾構造物「設計士・設計士補」試験＝5月16日まで申込受付
- ・東京港令和6年港勢（速報値）＝コンテナ貨物増加

■令和7年4月7日号（第1926号）

- ・政府 特定利用空港・港湾を追加＝11 空港 25 港湾に、道路ネットワークも整備
- ・内閣府 国土強靱化実施中期計画＝20兆円超で自然災害対策へ
- ・日本全国みなと便り（42）酒田港湾事務所 藤原弘道所長

- ・港湾局 持続的なクルーズ振興＝J I C C会員と意見交換
- ・国際クルーズ受入機能＝7年度第1回、7事業
- ・クルーズ訪日旅客受入＝7年度第1回公募結果
- ・中部国際空港 今月から代替滑走路着手＝延長3 2 9 0 m、工期2年
- ・国交省 能登半島地震の復旧・復興＝港湾・港湾海岸は本格着工
- ・茨城県 茨城港長期構想（案）＝常陸那珂港区で大型船受入
- ・東京都 伊豆小笠原諸島海岸保全＝基本計画改定、気候変動対応
- ・仙台塩釜港 ポートラジオが開局＝安全確保、航行支援
- ・松山空港 護岸ステージマウンド築造＝水深10mまで2次基礎捨石
- ・松山港 脱炭素化推進計画（案）＝荷役機械の低炭素化等
- ・屋久島空港 7年度から滑走路延長工事＝工期約10年、事業費1 6 5億円
- ・神戸港 港湾脱炭素化推進計画策定＝水素利活用しC N目指す
- ・那覇港 総合物流センターⅡ期＝P F I実施方針案を公表
- ・和歌山県 ポートフォーラム2 0 2 4＝花田局長が港湾動向を説明
- ・日高港 無線検疫対象港に指定＝和歌山県内では33年ぶり
- ・7年度港湾整備 港別予算・事業内訳④
- ・不動テトラ 浚渫船兼起重機船「F T 4 0 0」が完工＝6月に初弾工事で稼働へ
- ・作業船にバイオ燃料 東洋建設が初導入＝海上土木工事のCO2削減
- ・各社トップの入社式訓示（五洋建設、東亜建設工業、東洋建設、若築建設）
- ・近畿みなとの達人 「未来へ紡ぐ」テーマ＝阪神・淡路大震災30年
- ・佐伯港 みなとオアシスさいき＝登録証交付式、港を核に賑わい創出
- ・三菱総研 洋上風力と漁業の未来共創＝実現に向けた11の提案発表
- ・博多港に新造コンテナ船 INTERASIA TRIBUTE＝台湾・東南ア貨物拡大期待
- ・N E D O 関電が水素混焼実証開始＝万博会場に一部電力供給も
- ・国交省・環境省 ゼロエミ船建造促進＝6年度二次募集開始
- ・沿岸センター 海洋・港湾構造物「設計士・設計士補」試験＝5月16日まで申込受付
- ・東京港令和6年港勢（速報値）＝コンテナ貨物増加

■令和7年3月31日号（第1925号）

- ・国交省港湾局 サーキュラー港構築準備＝ガイドラインや支援策検討
- ・港湾局 C N P 認証制度を創設＝5段階で脱炭素取組を評価
- ・日本全国みなと便り（41）宮崎港湾・空港整備事務所 大平和芳所長
- ・航空局 空港除雪の省力・自動化＝ワンオペ、新技術活用等
- ・航空局 空港脱炭素化計画を認定＝佐賀空港、奄美空港
- ・港湾局 新技術カタログ第2弾＝4テーマの技術を募集
- ・未来のみなとづくり助成＝W A V Eが募集中

- ・関東地整副局長に森氏、四国次長に水口氏（港湾局3月20日人事）
- ・新潟港 洋上風力基地港湾整備＝アッセンブリ用地地盤改良
- ・東北地整 東北港湾技術ビジョン策定＝地域の課題を技術で支援
- ・産直港湾・十勝港 計画認定書授与式＝農水産物の更なる輸出拡大へ
- ・名古屋港管理組合 作業船に陸電供給＝金城ふ頭に2基設置
- ・川崎市 ファイナンスFWを策定＝臨海部企業の脱炭素化支援
- ・御前崎港 脱炭素化推進計画策定＝荷役機械のFC化等
- ・千葉・木更津港脱炭素計画＝次世代エネ転換等、両港で推進
- ・横浜港 令和6年港湾統計速報＝外貿トランシップが大幅増
- ・和歌山下津港 西浜地区再編を最優先で＝外貿コンテナ、RORO機能
- ・宇部港・空 命のみなとネットワーク訓練＝防府市と連携、向島に物資輸送
- ・境港 国際物流ターミナル再編＝水深12m新岸壁で機能強化
- ・細島港 港湾脱炭素化推進計画＝30年度にCO2排出50%削減
- ・大阪港湾局 産直港湾「堺泉北港」＝農産物輸出促進協議会
- ・大阪港湾局 ブルーカーボン拡充へ＝7年度舞洲・西島で調査
- ・博多港 香椎13m岸壁の改良＝7年度60m実施で改良
- ・大分県 中津港脱炭素化推進協＝計画策定へ初会合
- ・三国屋建設 「いばらき700」が竣工＝DPS全旋回式起重機船お披露目
- ・JBE クレジット証書交付式開催＝全国61団体がブルーC取組中
- ・JBE 6年度第3回公募（臨時）＝16案件、合計1100t
- ・東亜・八代エンジ 横浜ベイマリーナで脱炭素＝直立護岸活用しBC創出
- ・港湾局 水素燃料荷役機械を促進＝来年度ガイドライン案策定
- ・港湾局 水素受入環境整備GL＝中間取りまとめを公表へ
- ・日鉄エンジ 周南地区アンモニア供給＝出光から配管FEED受注
- ・北海道檜山沖洋上風力＝協議会意見取りまとめ
- ・海事局 脱炭素化促進補助事業＝メタ燃料等2件採択

■令和7年3月24日号（第1924号）

- ・港湾分科会 金沢、和歌山下津、高松港＝港湾計画改訂審議、物流機能強化、耐震岸壁等
- ・港湾局 協働防護で気候変動適応＝制度、実務整え取組加速へ
- ・事業評価部会 7年度新規事業を審議＝境港ふ頭再編改良事業
- ・港湾局 港湾のBCP策定GL委＝広域港湾BCP方策まとめ
- ・日本全国みなと便り（40）名古屋港湾事務所 辻誠司所長
- ・飯田港 東防波堤復旧技術検討会＝被災メカニズム解明し結審
- ・横浜港新本牧 鋼板セル4函の製作・据付＝工期約1年半、50億円以上
- ・中部地整・管理組合 四日市港海岸着工式典開催＝早期完成と地域の安全願う

- ・成田空港 鉄道アクセス対応を議論＝機能強化検討会、輸送力増強が必須
- ・四日市港 港湾計画改訂検討会開催＝新たな臨港道路、土地造成等
- ・伏木富山港 6年度工事安全大会＝安全確保徹底へ決意新た
- ・北陸地整 国際物流戦略T幹事会＝農産品輸出促進への取組
- ・横浜技調 第17回技術交流会開催＝官民5者が新技術発表
- ・阪南港埋立事業 貯木場跡、50haを造成＝7年度に予備設計や方法書
- ・高松空港 RESA整備が今後本格化＝代替溜池確保、埋立土砂手当
- ・神戸港 航路附帯施設築造工事＝延長約100mの本体工
- ・鹿児島港 鴨池中央港区橋梁下部工＝P9・10の手続きを開始
- ・八代港 大築島土砂処分場の整備＝7年度に暫定区域の受入等
- ・博多港 ブルーカーボン実験場に＝浅場潜堤築造工事手続き
- ・大阪みなと 脱炭素化推進計画を変更＝CCS、次エネ取組反映
- ・志布志港湾事務所 小学生がブロックペイント＝未来の海への願い込めて
- ・沖総局 港湾空港技術特別講演会＝沖縄特有の杭防食設計等
- ・中津港脱炭素化推進協議会＝計画作成へ初会合
- ・浮体式洋上風力 海上施工等に関する官民WG＝海上施工シナリオ等を議論
- ・港湾局 メタノール供給体制構築へ＝検討会まとめを日・英で公表
- ・PIANC-Japan・国交省 カンボジアセミナー2025＝シハヌークビル港の更なる発展
- ・日建連 海洋開発技術講演会＝港湾、空港プロジェクト動向
- ・ピア研 井上氏の出版記念の集い＝「英国の人と海辺のまちづくり」
- ・洋上風力 秋田県八峰町・能代市沖＝公募占用指針を認定
- ・洋上風力 都道府県からの情報提供＝5月12日まで受付
- ・五洋建設人事（4月1日）
- ・若築建設役員人事（4月1日）
- ・日鉄エンジニアリング人事（4月1日）

■令和7年3月17日号（第1923号）

- ・自民党港湾議連 国土強靱化への港湾整備＝財務省主計局に緊急要望
- ・港湾局 洋上風力導入促進のあり方＝大規模化や風車大型化対応
- ・港湾局 点検診断、維持管理ガイドライン＝改訂に向け議論進む
- ・再エネ海域利用法 一部改正法案が閣議決定＝EEZでの洋上風力等
- ・日本全国みなと便り（39）根室港湾事務所 中村 雅博所長
- ・【特集】祝・福岡空港第二滑走路供用 坂井功九州地方整備局副局長
- ・酒田港 岸壁、陸上地盤改良工事＝基地港湾整備の取組促進
- ・新潟技調 自動係留装置技術委最終回＝ガイドライン素案まとめ

- ・釧路港 長期構想検討委初会合＝物流効率化やクルーズ受入
- ・東北地整 官民連携勉強会開催＝B I M／C I Mテーマ
- ・鹿児島県 志布志港長期構想を策定＝ふ頭再編し物流Tを強化等
- ・熊本港 水深7.5m岸壁の整備＝土砂撤去工事（第2次）
- ・熊本港 夢咲島防波堤南整備＝今年度最終函手続き
- ・四国地整 官民でC N P形成勉強会＝ニーズ踏まえ新技術共有
- ・森長組 大型パイプロハンマ試験工＝蘭P V E製・国内最大級、高効率・安全施工に期待
- ・中部地整 名古屋港で航路啓開等訓練＝国・管理者・民間団体が連携
- ・R S O 港の「リ・シンク」講和＝人材育成で港にうねりを
- ・五洋・東亜J V マタバリ港土木工事受注＝水深16mC T等、734億円
- ・宮武海事局長 日中海運政策F所感＝2月の記者懇談会
- ・海事局 内航海運輸送力向上＝補助金公募（今月末まで）
- ・東京都港湾局 埋立護岸改修・グリーン化＝今後10年で400～450億円
- ・五洋建設人事・機構改革（4月1日）

■令和7年3月10日号（第1922号）

- ・国交省港湾局 遠隔操作荷役機械安全確保＝8年度にモデル規定策定へ
- ・港湾局 ブルーカーボン役割検討会＝更なる活用促進に向け取組み
- ・航空局 空港技術基本計画見直し＝懇話会で意見交換
- ・海事局 クルーズ発展検討会始動＝裾野拡大へ新たな処方箋を
- ・港湾統計速報（令和6年12月分）
- ・四日市港臨港道＝陸上ルート案でまとめ＝今秋の港湾計画改訂を予定
- ・四日市港 霞ヶ浦W81国際物流T整備＝先行120mの早期供用へ
- ・東北地整・秋田県 能代工大森地区岸壁が完成＝洋上風力に大きな期待
- ・中部地方整備局 海の再生全国会議 in 伊勢湾＝「豊穡な宝の海を取り戻すために」
- ・輪島港 予備費充当し浚土仮置場＝約11億円を閣議決定
- ・中部地整 クルーズ船寄港が最多に＝2024年速報値
- ・三重県 バイオ燃料供給実証＝尾鷲港で県内3例目
- ・北九州空港 2件のW T O対象工事＝滑走路、誘導路の舗装工事
- ・北九州空港 R E S Aに向け土地造成＝滑走路北端に用地整備工事
- ・福岡空港増設滑走路・国際線旅客ターミナル＝供用式典開催
- ・那覇港管理組合 第2C Bの社会実験＝ブルーカーボンクルーズ
- ・近畿地整 深日洲本航路協議会＝船舶大型化など集客強化
- ・工事入札結果（令和7年1月契約分）
- ・業務入札結果（令和7年1月契約分）
- ・みなと総研 海の再生・ブルーインフラ賞＝多様な主体が持続可能な取組

・浮体式洋上風力発電の取組⑦ NEDO米倉秀則風力・海洋ユニットシステム開発チーム長

- ・総合政策局 海の次世代モビリティ成果報告会＝水産、インフラ管理等4件
- ・東亜建設工業人事・組織変更（4月1日）
- ・東洋建設人事・機構改革（4月1日）
- ・あおみ建設組織変更・人事（4月1日）

■令和7年3月3日号（第1921号）

- ・国交省港湾局 メタノール供給拠点形成＝実施に向けたロードマップ示す
- ・港湾局 アイコン・インフラDX委＝ICT施工分野の拡大図る
- ・しげもとまもるが語る（5）空港への期待
- ・土木学会 インフラメンテ賞決定＝稲田氏らがエキスパート賞
- ・港湾局技術企画課 iコン、BIM/CIM操作編説明動画を公開
- ・横浜港 新本牧地区国際CT整備＝中仕切地盤改良、岸壁築造
- ・金沢港 港計改訂（案）地港審了承＝新大浜地区にCT位置づけ
- ・久慈港 第2回長期構想検討委員会＝諏訪下・半崎にバルク拠点形成等
- ・鹿島港 外港地区中央防波堤本体＝最終ケーソン2函の仕上へ
- ・石狩湾新港管組 新港説明会（東京）開催＝エネルギー基地など役割紹介
- ・酒田港 港湾脱炭素化推進協議会＝次エネ事業追加し取組促進
- ・和歌山下津港 地港審で改訂計画案了承＝西浜地区再編し物流機能強化
- ・高松港 改訂計画案を地港審了承＝新たに水深14mコンテナ岸壁
- ・長崎空港RESA 7年度第1次用地造成工＝今後中仕切の捨石等予定
- ・下関港海岸 宮崎水門取付護岸本体＝水門部は8年度着手予定
- ・新宮港・宇久井港で訓練 命のみならずNW＝70名参加し協力体制構築
- ・愛媛県、産業立地・ポートセミナー＝菅副知事や県内船社がPR
- ・関東地整 東扇島広域防災拠点で訓練＝管理運営机上訓練、ヘリ夜間離着陸
- ・日建連 24年度「海洋安全表彰」＝名港新処分場護岸工の東洋JV
- ・第15回国際風力発電展 国内外から多数来場＝白井海洋・環境課長が講演
- ・東亜建設工業 「東亜未来フォーラム」＝早川社長が半導体テーマに開設
- ・日鉄エンジ 日本海営業所開設へ＝洋上風力の供給基地に
- ・東洋建設 仏ジフマール社と協業＝洋上施工作業船SC展開
- ・東洋建設 基礎地盤コンサルと協業＝海底ケーブル施工リスク評価
- ・成田国際空港 空港カーボン認証Lv4＝ZEB化やSAF導入拡大
- ・博多港 日中フェリー「新鑑真」＝トライアル寄港を歓迎

■令和7年2月24日号（第1920号）

- ・国交省港湾局 協働防護計画の議論進む＝年度末にガイドライン策定
- ・港湾局 サーキュラーエコノミーポート＝年度内にあり方まとめ
- ・港湾局 新技術導入促進委員会＝新たに公募するテーマを議論
- ・CYBER Port コンテナ船の動静情報取得＝3月14日までトライアル実施
- ・日本全国みなと便り (37) 敦賀港湾事務所 坂井 啓一所長
- ・港湾局・海事局 クルーズ訪日旅客受入＝7年度第1回公募開始
- ・港湾局 国際クルーズ旅客受入＝7年度第1回公募開始
- ・川崎臨港道路 水江側アプローチ上部手続＝残る4基の橋脚工も発注へ
- ・四日市港港湾脱炭素化推進協議会＝4事業追加、進捗確認も
- ・北陸地整 広域バックアップ専門部会＝物流BCPの企業周知へ
- ・中部地整ら 港湾空港技術講演会＝気候変動適応策実装など
- ・三重県 津松阪、尾鷲港脱炭素化＝計画最終案取りまとめ
- ・小名浜港セミナーin東京 利用促進協議会ら＝大剣CT機能強化などPR
- ・姫路港 広畑国際物流ターミナル整備＝岸壁鋼管矢板打設が最終へ
- ・志布志港 新若浜地区岸壁築造促進＝沖防波堤は最終の2函据付
- ・舞鶴港 第2バースで築造開始＝水深12m岸壁ケーソン5函
- ・水島港セミナー 都内で開催＝玉島HIの物流機能PR
- ・工事入札結果 (令和6年12月契約分)
- ・業務入札結果 (令和6年12月契約分)
- ・埋浚協会 うみの現場見学会 (苅田港) ＝工学系大学生らが高い関心示す
- ・浮体式洋上風力発電の取組⑥ FLOWRA寺崎正勝理事長
- ・国交省 インフラDX大賞授与式＝中野大臣、更なる省人化期待
- ・四国地整 手づくり郷土賞授与式＝奈半利港海岸の取組
- ・国交省 海の次世代モビリティ＝社会実装に向けた課題整理
- ・清水物流研究会 高橋JPC特別顧問が講演＝世界の最新CT技術を紹介
- ・東洋建設 外洋作業船で相互協力＝シンガポール・サイアン社と覚書
- ・日本郵船 アンモニア燃料・輸送船＝ヤラ社と定期備船契約

■令和7年2月17日号 (第1919号)

- ・港湾法一部改正閣議決定＝緊急輸送拠点確保、気候変動対応等
- ・港湾局 港湾BCP策定検討委員会＝広域BCPガイドラインも議論
- ・港湾局 クルーズ受入機能高度化＝ガイドライン案示す
- ・日本全国みなと便り (36) 別府港湾・空港整備事務所 溝江孝雄所長
- ・官民技術交流会開催＝港空研、交流会が技術発表
- ・国総研 係留施設被害の有無＝概略判定手法まとめ
- ・千葉県 木更津港長期構想案＝7年度から港計改訂審議へ

- ・名古屋港 長期構想検討委初会合＝官民連携、ポア活活用等
- ・東京都港湾局 島しょ部の港湾整備等動向＝⑤島しょ空港の整備の動き
- ・関東地整・大磯町 大磯港で物資輸送訓練＝命のみなとNW
- ・釧路港ポートセミナー＝鶴間市長が港に期待
- ・東京都港湾局 「東京港のつどい」＝持続可能な物流へ連携
- ・横浜市と東電P Gら 洋上風力電力供給で覚書＝臨海部を起点に検討
- ・大阪港 主航路のポンプ浚渫公告＝余掘り含め約 118 万 m<sup>3</sup>
- ・高松港 朝日地区複合一貫輸送T＝鋼杭打設の最終区間を手続き
- ・徳島飛行場 R E S A整備へ準備開始＝免許取得、アンカーブロック製作
- ・那覇港管理組合 第2クルーズバースで社会実験＝水中観光船で港内観光
- ・志布志港 脱炭素化推進計画案公表＝40年度のCO<sub>2</sub>、13年比73%減
- ・博多港振興セミナー 都内で開催＝高島市長らが利用呼掛け
- ・九電みらい MW級風車で潮流発電実証＝発電機見学会、商用化に向け系統接続も
- ・浮体式洋上風力発電の取組⑤ 海産研 青山伸昭代表理事
- ・J O P C Aセミナー開催 インドネシア港湾＝F O I P推進に向けた課題
- ・S C O P E 日本大学で寄付講座開設＝海との多様な関わり主題に
- ・海事局 第3回自動運航船検討会＝安全基準、管理体制議論
- ・石狩湾新港 令和6年取扱貨物量（速報値）
- ・東洋建設人事（3月1日）
- ・みらい建設工業人事（4月1日）

■令和7年2月10日号（第1918号）

- ・国交省港湾局 国際コンテナ戦略港湾政策＝検討委開催、港湾運営会社との連携強化
- ・港湾局 港湾のCO<sub>2</sub>排出量削減＝工事の削減目標、工程示す
- ・サイバーポート（港湾・統計） 利用者アンケート結果＝作業時間大幅短縮、業務効率化
- ・日本全国みなと便り（35）石垣港湾事務所 與那嶺和史所長「八重山の観光と暮らしを支える」
- ・国交省 インフラメンテ大賞＝東洋建設が国交大臣賞
- ・港湾統計速報＝令和6年11月分
- ・石巻港区 雲雀野地区水深12m岸壁＝深層混合処理杭で地盤改良
- ・北陸地整 第2回飯田港東防検討会＝防波堤復旧方針（案）示す
- ・東京都港湾局 島しょ部の港湾整備等動向 ④島の港R e活用事業展開
- ・東京都 第102回港湾審議会開催＝東京港のコンテナふ頭経営戦略案
- ・仙台港首都圏セミナー 都内で開催＝高砂C T拡張等アピール
- ・金沢港・空整備事務所 6年度安全大会を開催＝埋浚協、県港漁協と共催
- ・秋田港 外港地区防波堤（第二南）＝ケーソン設置、製作工事



- ・堺泉北港 汐見沖国際物流ターミナル＝9年度からの供用開始へ促進
- ・北九州港 新門司沖土砂処分場Ⅱ期＝7年度発注工事で南護岸概成
- ・熊本県ポートセミナーin東京 木村知事らがプレゼン＝八代港、熊本港の利用呼掛け
- ・広島技調 「実りある学舎」を開催＝高橋JPC顧問ら講演
- ・近畿地整 阪神港のCONPAS導入＝7年度KICTで運用開始へ
- ・四国・近畿地整 紀州水道の漂流物除去＝みずき・海和歌丸、合同訓練を実施
- ・宮城県 油津港で防災訓練＝関係機関連携し応急復旧
- ・広島技調 第2回民間技術説明会＝5テーマ報告（2／17）
- ・浅野総一郎翁事績顕彰会設立＝「九転十起」の精神を次世代へ
- ・浮体式洋上風力発電の取組④ JWP A 小杉政策部会長
- ・東洋建設 海技大学校講堂の命名権取得＝JMET Sと調印式開催
- ・JICA研修員を歓迎 JOPCA、OCDIら港湾団体＝「港湾戦略運営」16か国参加
- ・若築建設・白海 低環境負荷型藻場基盤材＝実証研究着手、秋頃実海域設置へ
- ・総合海洋政策 AUV官民PF報告会＝いであら4件の実証事業
- ・国土交通省 海外インフラP技術者＝東亜、東洋の技術者ら受賞

#### ■令和7年2月3日号（第1917号）

- ・自民党港湾議連 国土強靱化へ予算確保＝総会開催、次期中期計画で増額目指す
- ・港湾関係5団体 新春賀詞交歓会を開催＝1000名が集い港湾の発展を祈願
- ・港湾局 港湾施設維持管理検討会＝設計供用期間や診断頻度議論
- ・しげもとまもるが語る（4）観光と港湾
- ・名古屋港 新土砂処分場埋立護岸整備＝余水吐設置工等WTO3件
- ・東京都港湾局 島しょ部の港湾整備等動向③ DXを活用した安全管理
- ・管理組合 苫小牧港脱炭素化推進協＝計画策定後初会合開催
- ・小樽港 ポート・オブ・ザ・イヤー受賞＝大型クルーズ船対応、賑わい創出
- ・横浜市・タイ港湾庁 パートナー港連携10周年＝連携強化、基本合意書更新
- ・新潟技調 災害対応功労者に感謝状＝能登半島地震で尽力
- ・広島港 出島CT、仕上げ工程手続き＝裏埋に事前混合処理土活用
- ・高知港海岸 湾口地区防波堤改良工事＝種崎側津波防波堤関連工等
- ・高松港 カルシア改質土実証試験＝7年度モニタリング実施
- ・沖縄県 本部港中長期計画検討委＝機能再編、物流産業機能強化
- ・浜田港 福井地区仮係留施設築造＝ケーソン3函設置工事
- ・那覇港 総合物流センターⅡ期整備＝PFI実施方針を3月公表へ
- ・港湾局 水素等の受入環境整備＝川崎港視察、ガイドライン案示す
- ・港湾局 貿易PF利活用を推進＝物流事業者と意見交換会

- ・浮体式洋上風力発電の取組③ 埋浚協会 野口哲史技術委員長
- ・宮武海事局長 令和7年度予算所感＝CN推進、人材確保育成
- ・港空研 ブルーカーボン共同研究＝サウジ研究者が日本国際賞
- ・JBE Jブルークレジット＝R6第2回公募、26日まで
- ・不動テトラ 水中構造物点検手法＝濁水中での撮影に成功
- ・東洋建設 PileT-Real を開発＝VRで杭の位置誘導可能に

■令和7年1月27日号（第1916号）

- ・国交省港湾局 重要港湾等主幹課長会議＝稲田局長が重点取組5項目
- ・浮体式洋上風力 FLOWCON設立＝洋上PHの建設システム狙い
- ・日本全国みなと便り（34）釧路港湾事務所 高橋啓司所長「ひがし北海道」の地域産業と暮らしを支えるみなと」
- ・港湾局 日・コートジボワール＝港湾ワークショップ開催
- ・港湾局 サイバーポートセミナー＝新機能を紹介
- ・国交省 国際港湾周辺の物流拠点＝補助事業公募開始
- ・仙台塩釜港 石巻港区耐震強化岸壁整備＝着工式典開催、安全確保、物流効率化に期待
- ・東京都港湾局 島しょ部の港湾整備等動向 ②離島の安全・安心確保
- ・四日市港 バイオ燃料荷役でCN＝霞ヶ浦北ふ頭で実証実験
- ・久慈港 湾口防波堤のケーソン据付＝15億円以上30億円未満
- ・敦賀港 脱炭素推進協議会＝来年度計画策定へ初会合
- ・川内港 唐浜地区国際物流ターミナル＝7年度岸壁築造工事手続き
- ・広島港海岸 吉島・矢野の工事手続き＝場所打コンで新たな岸壁築造
- ・徳山下松港 徳山地区水深14m岸壁＝ケーソン製作・据付工
- ・和歌山下津港 藤白第3工区築造手続き＝鋼管・ケーソン式、場所打構造
- ・和歌山下津港 本港地区泊地等浚渫＝水深13m確保を推進など
- ・佐伯港 第2回脱炭素化推進協＝R7末計画策定へ現状共有
- ・日高港 防波堤（西）に消波ブ＝約235個の据付工事
- ・業務入札結果（令和6年11月契約分）
- ・東亜建設工業 バイオ燃料製造・販売事業＝三和エナジーと共同検討、FS開始、燃料分野で脱炭素
- ・浮体式洋上風力発電の取組②SCOPE松田理事・洋上風力部長＝MWS業務で洋上風力支援
- ・東洋建設 浅水波伝播シミュ研究論文＝土木学会AI・DS特別賞受賞
- ・カナデビア CO2からLPG合成＝産総研グループと実証実験
- ・応用地質 北海道2海域で調査受託＝JOGMEC初の浮体式
- ・関西電力・RWE 北海道島牧沖洋上風力＝計画段階環境配慮書

- ・中部みなとオアシス会議 富士市で開催＝田子の浦、大井川の活動報告など
- ・大阪府市 夢洲第2期開発事業＝優秀提案公表、マストラ策定へ

■令和7年1月20日号（第1915号）

- ・中野大臣 北九州空港等を視察＝滑走路3km化、国際競争力強化に期待
- ・航空局 空港施設の維持管理検討委＝地方の技術者不足に権限代行も
- ・福岡空港第2滑走路＝3月20日供用開始
- ・国交省 インフラDX大賞決定＝デジタル技術で生産性向上
- ・海事局 ゼロエミ船建造促進事業＝16事業採択、1200億円投資
- ・海事局 NX補助金（第3次）＝日本郵船ら3件採択
- ・港湾局人事（1月15日）
- ・青森港 岸壁本体の築造工事手続き＝鋼管杭の製作・据付を実施
- ・酒田港 岸壁、地盤改良を1件で＝50億円未満工事で進捗図る
- ・東京都港湾局 島しょ部の港湾整備等動向＝①緊急輸送用岸壁の整備
- ・東京都 藻場創出活動方針まとめ＝官民でアマモ、ワカメ移植
- ・函館港 脱炭素化推進協議会＝市が陸電供給設備等
- ・静岡県 御前崎港脱炭素化推進計画＝再エネ区域や臨海部のCNへ
- ・工事入札結果（令和6年11月契約分）
- ・近畿地整 WTO4件を発注見通しに＝大阪港航路でポンプ浚渫開始
- ・四国地整・徳島県 国際物流T着工式典開催＝徳島小松島港赤石地区13m岸壁
- ・福岡県 苅田港長期構想原案示す＝高規格UL、自動車T等検討
- ・熊本県 八代港脱炭素化計画策定＝2030年までに13年比50%減
- ・四国地整 官民でCNP形成勉強会＝液化水素の最新動向等
- ・関門航路 大瀬戸～早鞆瀬戸14m化＝日明地区対象に2件の工事
- ・若築建設 1万t級FDを新造へ＝生産性向上、安全性確保
- ・浮体式洋上風力発電の取組① 沿岸センター栗山特別研究監
- ・東亜建設工業 伊勢湾でアマモ場造成＝フジトランスとコラボ
- ・JOPCA インドネシアセミナー＝パティンバン港、新首都見学
- ・国総研 7年度新規課題0.5億円＝係留施設の耐震設計法開発等
- ・北海道ガス 苫小牧港東港にLNG基地＝水素・eメタンも念頭に検討

■令和7年1月13日号（第1914号）

- ・中野洋昌国土交通大臣 新年の挨拶
- ・しげもとまもるが語る（3）3つの危機から日本をまもる
- ・洋上風力 第3ラウンド事業者決定＝青森県沖日本海（南）、遊佐町沖
- ・宮武海事局長 内航CNや船員確保＝40年にCO2 36%削減

- ・国交省港湾局 港湾緑地意見交換会＝東京初開催、寺田倉庫視察
- ・港湾技術開発課題公募＝C T生産性向上など
- ・C Tゲート高度化を支援＝補助事業公募開始
- ・北陸地整・石川県 能登半島地震の復旧・復興＝短・中長期に分け方針示す
- ・東京港 Y 3 コンテナT 2 件手続き＝10 基のJ Kを制作・据付
- ・千葉県 東京湾・千葉東沿岸海岸保全基本計画＝面的防護・段階整備等変更へ
- ・東京都 東京港C N P協議会＝形成計画更新へ初会合
- ・伏木富山港湾事務所 災害対応功労者に感謝状
- ・直江津港 脱炭素化推進計画策定＝日本海側の次エネ拠点へ
- ・横浜市 山下ふ頭再開発検討委＝山中市長に答申手交
- ・釧路港ポートセールス 2025＝1/29、札幌市で開催
- ・中野大臣 神戸国際コンテナT等視察＝戦略港湾の国際競争力強化を推進
- ・下関港でL N Gバンカリング＝九州管内初、拠点形成に大きな期待
- ・四国地整 事業評価監視委員会開催＝高松港朝日地区複合一貫輸送T
- ・九州地整・国総研・港空研 港湾空港技術特別講演会＝能登の港湾利用可否など5テーマ
- ・近畿地整 神戸港親子見学会を開催＝絵本作家ら交え 25 名参加
- ・四国地整 高松の港づくりツアー＝朝日地区岸壁築造現場見学等
- ・平岡成哲航空局長 年頭の辞
- ・企業トップの年頭所感（五洋建設、東亜建設工業、東洋建設、若築建設）
- ・清水琢三日本埋立浚渫協会会長 年頭の辞
- ・四国協議会 みなとオアシス研究会＝高知県須崎市で初開催
- ・港コン協 6 年度意見交換会まとめ＝災害時に関する対応策協議等
- ・いであ ドローン技術で提携＝ブルーイノベ社、点検・保守、災害対応力
- ・海事局 内航C N 推進検討会＝40 年度C O 2 削減目標案
- ・沿岸センター 港内長周期波影響評価委開催＝マニュアル改訂版を刊行予定
- ・港湾統計速報（令和 6 年 10 月分）

■令和 7 年 1 月 6 日号（第 1913 号）

【令和 7 年新年特集】

- ・中野国土交通大臣 新春インタビュー
- ・稲田港湾局長 令和 7 年 1 月年頭所感
- ・7 年度港湾予算 補正込みで 3 7 3 3 億円＝気候変動適応へ協働防護推進等
- ・国交省港湾局 大型風車、浮体式への対応＝港湾施設の規模、あり方検討
- ・港湾局 港湾B C Pガイドライン見直しへ＝能登地震を踏まえ海上輸送N W形成等
- ・港湾局 みなとS D G s パートナ＝新たに 13 者登録
- ・港湾局人事（1 月 1 日付）

- ・国際クルーズ旅客受入＝唐津港の計画を採択
- ・航空局 3903億円で事業促進＝航空の安全・安心施策等
- ・航空局 空港脱炭素化計画認定＝旭川、花巻、静岡空港
- ・国交省港湾局 スマートターミナルフォーラム開催＝C Tの技術開発動向を発表
- ・R P P C 6年度セミナーを開催＝「サーキュラーエコノミー」
- ・四国地整 高橋 J P C会長らが説明＝世界の最先端技術の動向
- ・四日市港湾事務所 「工事安全大会」を開催＝施工中企業から取組報告
- ・クルーズ・オブ・ザ・イヤー J O P A、授賞式開催＝グランプリに飛鳥Ⅱ世界一周クルーズ
- ・兵庫県 播磨臨海C N P勉強会＝齋藤知事が脱炭素化計画手交
- ・関東地整 アマモメッセンジャー＝衛藤副局長にアマモ種届ける
- ・国交省 ジャパコン国際賞＝第8回表彰案件募集